

SystemGlobe GlobalMaster 差分モジュール適用手順書

平素より SystemGlobe GlobalMaster の拡販にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。
本文書では、以下の不具合とこれに対処するための差分モジュールの適用手順について説明いたします。

- ・ 複数回の起動を指示された旨のメッセージが出力される
- ・ パーティションを再起動するとストール検出のメッセージが出力される

1 現象の説明

本改造物件の修正される現象についてご説明いたします。

1.1 複数回の起動を指示された旨のメッセージが出力される

GlobalMaster が 2 回以上の起動指示を行った場合に、以下のメッセージが SP コンソールに出力されます。

```
[iSP0m:INFO.2038] partition 0 : start-up processing can't be executed  
because start-up processing has been already working.
```

なお、1 回目の起動指示のみ有効とし、2 回目以降の起動指示は無効とするため、起動処理に問題を生じることはありません。

1.2 パーティションを再起動するとストール検出のメッセージが出力される

パーティションの再起動を行った際に、GlobalMaster のログにパーティションでストールが発生したことを示すメッセージが出力されます。なお、Professional 版ではこの現象は発生しません。
また、本現象により GlobalMaster の運用に問題が生じることはありません。

2 改造物件（GlobalMaster 2.2-01）の適用について

以下に改造物件の適用手順を示します。以下の記述を熟読し、内容を理解した上で作業を進めていただきますようお願いいたします。

2.1 適用条件

本物件の適用条件は以下の通りです。以下に示す条件に一致しない場合、適用できません。

ソフトウェア	SystemGlobe GlobalMaster R2.2
OS	Windows 2000 Server SP2 以降、Windows Server 2003, Standard Edition ※上記はいずれも 32 ビット バージョン
機種	Express5800 シリーズ

2.2 差分モジュール

差分モジュールは Windows 自己展開形式で格納されています。

ファイル名	ファイルの説明
gmupdate-2_2-1.exe	本差分モジュールのインストーラ (Windows 自己展開形式)

この差分モジュールには、以下のファイルが含まれています。

<GlobalMaster のインストールディレクトリ>¥ lib¥hagmmgr.jar

また、本モジュールを適用することで、GlobalMaster の既存の設定内容が影響を受けることはございません。

なお、差分モジュールのファイルサイズと md5sum の結果は以下の通りです。

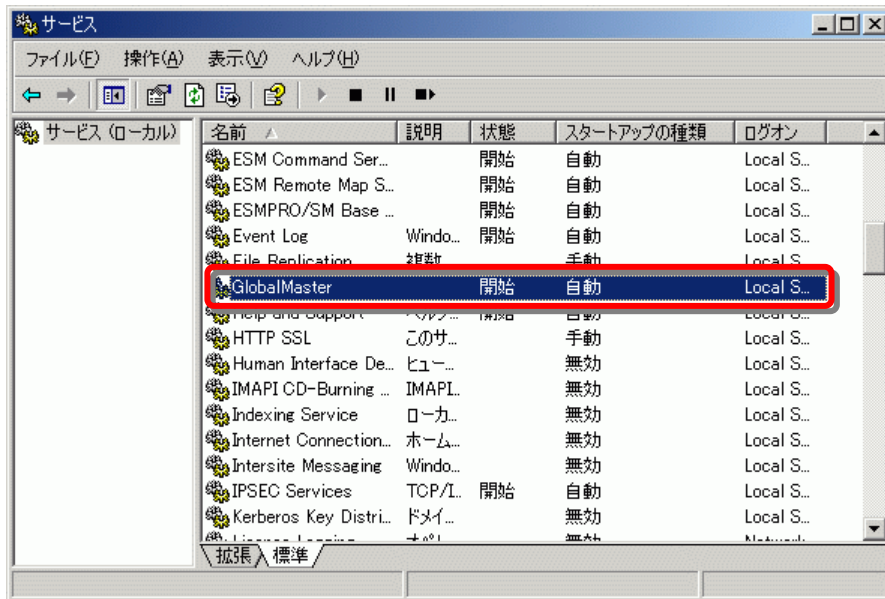
ファイル名	ファイルサイズ	md5sum の結果
gmupdate-2_2-1.exe	3,848,704 バイト	b0bacdd61ef4aa9a69e3f6bf24a2fa4d

2.3 差分モジュール（GlobalMaster 2.2-01）の適用および設定手順

- 1 差分モジュールを適用するコンピュータに Administrator 権限のあるアカウントでログインしてください。Administrator 権限がないアカウントではインストールできません。
- 2 他に実行中のプログラムがあれば、終了させてください。

3 GlobalMaster のサービスを停止します。

Windows のタスクバーから「スタート」→「管理ツール」→「サービス」をクリックし、次のダイアログを表示します。



GlobalMaster をクリックして選択した後、メニューから「操作(A)」→「停止(O)」をクリックします。

4 差分モジュールのインストーラ(gmupdate-2_2-1.exe)を起動します。

Windows のタスクバーから「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックし、以下のコマンドを実行します。

E:\¥XXX¥gmupdate-2_2-1.exe

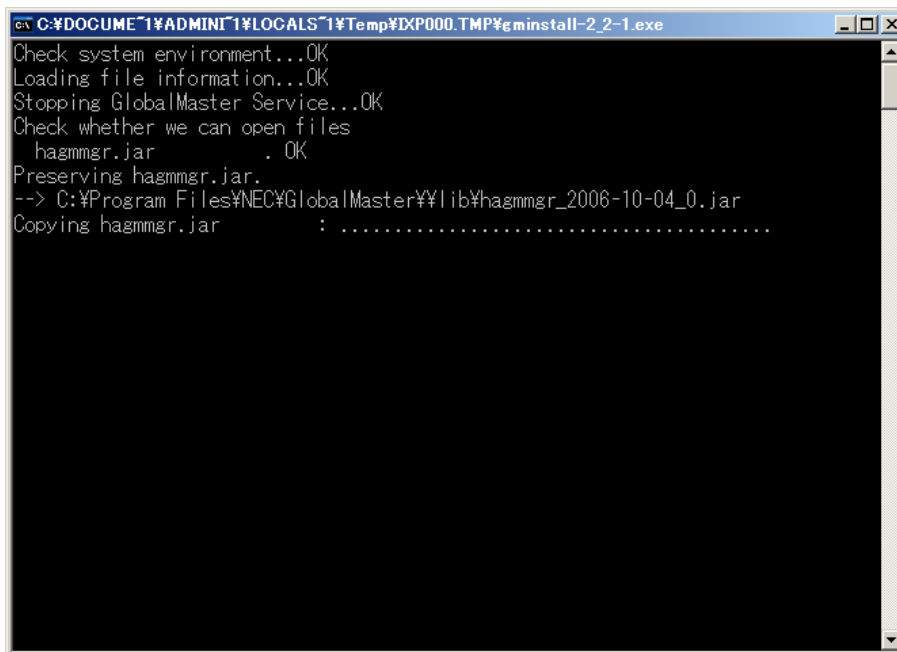
(E:\¥XXX¥ はダウンロードしたファイルを置いたパス)

5 次のダイアログが表示されるので、アップデートモジュールのインストールを開始します。

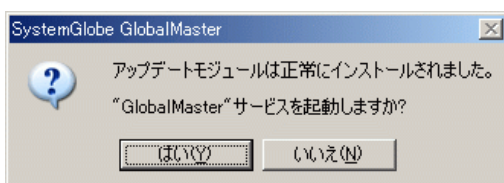


[はい(Y)]ボタンをクリックします。

- 6 差分モジュールのインストール中は、次のウィンドウが表示されます。



- 7 差分モジュールのインストールが完了すると次のダイアログが表示されるので、GlobalMaster のサービスを起動します。



[はい(Y)]ボタンをクリックします。

- 8 次のダイアログが表示されるので、インストーラを終了させます。



[OK]ボタンをクリックします。

- 9 差分モジュールのインストールが完了したか確認するために、GlobalMaster の GUI 画面を起動します。

Windows のタスクバーから「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「NEC」→「GlobalMaster」→「GlobalMaster」をクリックします。

10 GlobalMaster のバージョン情報が「2.2-01」になっているかを確認します。

GlobalMaster のメインメニューから「ヘルプ (H)」→「バージョン情報 (V)」をクリックします。



GlobalMaster のバージョン表示ダイアログで、「Version:2.2-01」と表示されることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックします。

以上で、差分モジュールの適用および設定作業が完了します。Windows の再起動や GlobalMaster サービスの再起動は不要です。

3 注意制限事項

3.1 注意事項

- 差分モジュールの適用作業中は GlobalMaster を起動できないため、作業中に管理対象で発生する障害などの現象には対処できません。

3.2 制限事項

差分モジュールには、以下の制限事項が存在します。

本改造物件を適用した後に、GlobalMaster 自体のアンインストールは差分モジュールを適用する前と同じ手順により実施することができます。しかし、差分モジュールのみをアンインストールし、差分モジュールの適用前の状態にすることはできません。

－以上－